インパクトファイナンスへの取組みについて

2023年11月2日
日本生命保険相互会社

日本生命グループのサステナビリティ経営

経営基本理念

国民生活の安定と向上に寄与する

領域	サステナビリティ重要課題
人	① 人生100年にわたる安心・安全の提供 ② 希望に満ちた未来世代を育む ③ 多様性と人権の尊重
地域社会	④ 活力あふれる地域社会の創出
地球環境	⑤ 豊かな地球を未来につなぐ

資産運用領域

当社の「経営理念」、
「サステナビリティ重要課題」と
合致した責任投資を展開

〈上記を支える経営基盤〉

コンプライアンス、リスク管理、
コーポレートガバナンス、人的資本

日本生命の責任投資：テーマ投融資、エンゲージメント

テーマ投融資

- テーマ投融資実績額：2.3兆円※
（うち脱炭素ファイナンス枠：1.6兆円※）

アウトカム創出

温室効果ガス排出削減寄与量

約335万トン/年

資金提供を通じ企業が事業で削減した
温室効果ガス排出量削減量

生活に必要な水の供給（人）

約140万人/年

淡水化プラント等への資金提供を通じて生活に
必要な水の供給を享受できるようになった人の数

医療サービスの供給（人）

約95万人/年

医療施設への資金提供を通じて医療サービスを
享受できるようになった人の数

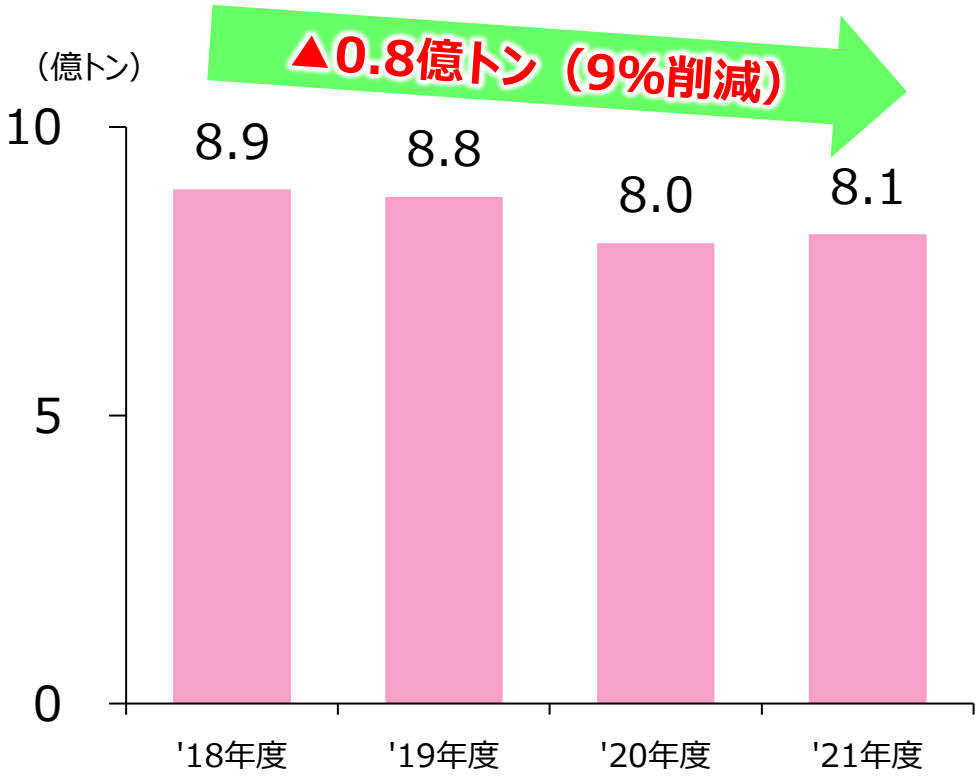
※2023年9月末時点の投融資実績

エンゲージメント

- 総対話先：674社
- 総対話数：1,141回

アウトカム創出

温室効果ガス排出量【対象75社】



※コロナ禍による影響も減少に寄与した可能性あり

責任投資アプローチの根本的な変化

責任投資の考え方に関する根本的な変化--地殻変動--が起きつつある

- **SDGsと世界の現状の乖離を縮小させる**ために、インパクトファンドに加えて、**エンゲージメントにも取り組んでいく必要**
- アセットオーナーとして、**Investing for Sustainability Impact（IFSI）をポートフォリオ全体のコア戦略に**据える
- 一部の先進企業によるサステナビリティ・アウトカム創出に留まらず、**エコシステム全体に広げていくことが重要**

（※）IFSI：投資先企業等の行動に影響を与え、サステナビリティ・アウトカムの創出に貢献することを意図的に試みる投資活動

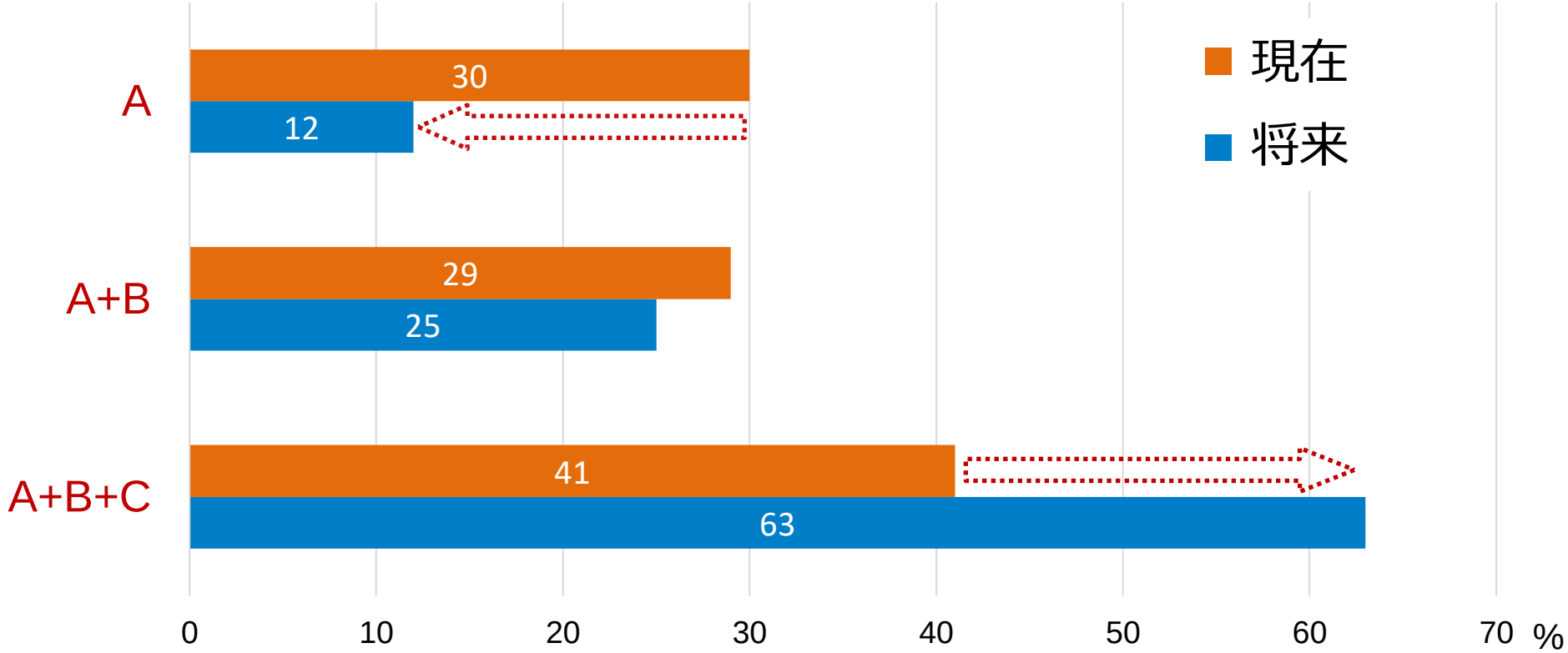
投資家が考える責任投資とは？

あなたの組織にとって、責任投資とは、

A. ESGリスクの管理 （ESG情報を用い、ポートフォリオのリスクを評価し、エクスポージャーを調整）

B. サステナビリティ・アウトカムの特定 （SDGsとの関連性の観点からポートフォリオをレビュー。または TCFDに沿った温室効果ガス排出量の追跡と開示を行う）

C. サステナビリティ・アウトカムに対する行動 （資産配分やスチュワードシップ活動を通して、特定のSDGsと紐づいたアウトカム形成を目指す）



Source: PRI IN A CHANGING WORLD SIGNATORY CONSULTATION, PRI BOARD RESPONSE, March 2023

サステナビリティ・アウトカムの創出に向けた課題

PRI in Person 2023

PRI in Person
2023 Lead Sponsor

- PRI in Person 2023のテーマは、**“Moving from Commitments to Action”**
- 目標を設定(Commitment)する段階から、その達成に向けた具体的な行動(Action)を起こす段階へと移行していることを確認した上で、責任投資の実践例の紹介を通じて、今後取るべき行動について議論を行いました。

アウトカム創出に向けた課題

サステナビリティ・アウトカムの定量評価が難しいテーマが存在
（ex. S領域のアウトカム）

ネットゼロに向けた高いambitionと公正な移行の両立
(ネットゼロの急進的な計画は高排出セクターの雇用喪失をもたらし得る)

地域やマーケット等の違いをふまえた投資先企業への働きかけ

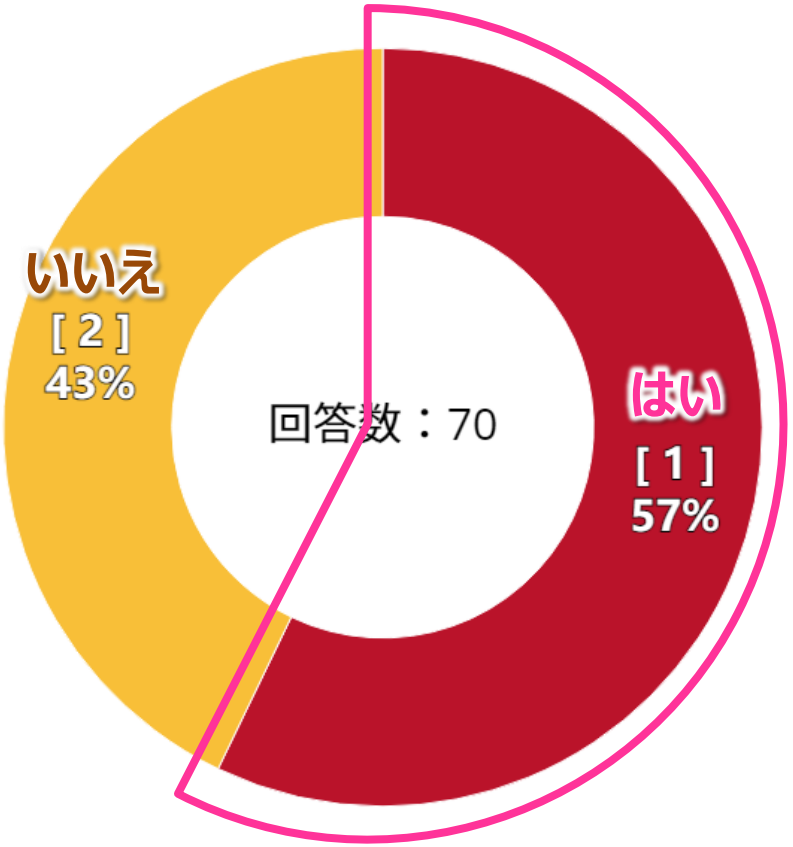
ポリシーエンゲージメントの強化

NISSAY
Together, let's be future makers
Nippon Life Insurance Company
PRI in Person
2023 Lead Sponsor

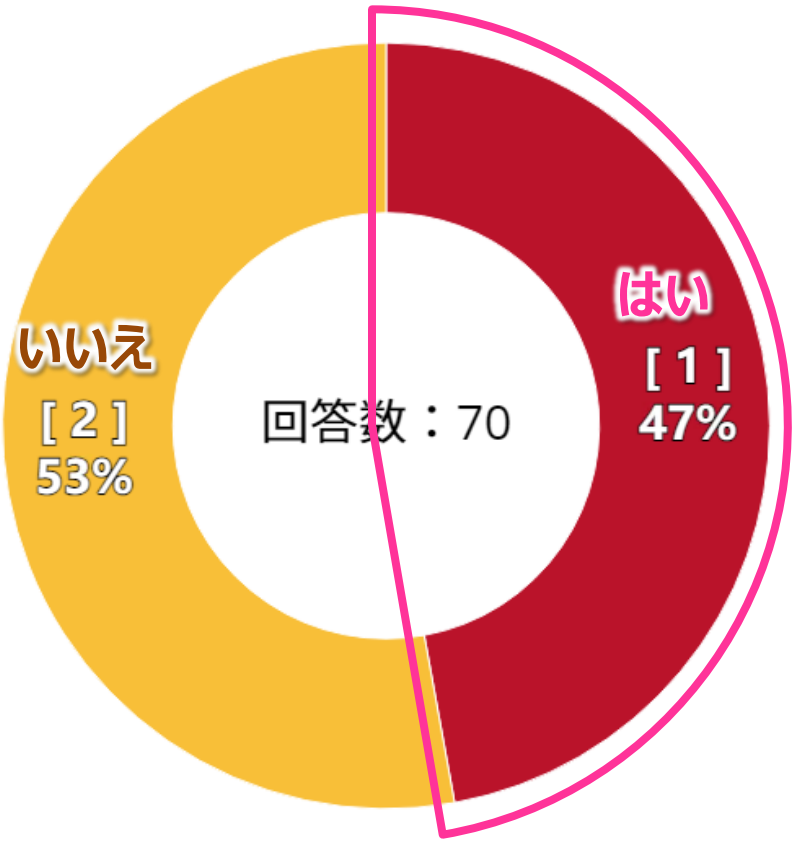
マイルストーン管理を行う投資家が増加

10/6 日本生命主催 PRI in Person 2023 公式サイドイベントでのアンケート

Q.1　投資先企業に対して、サステナビリティ・アウトカムのターゲットを定め、その達成に関して、期限を定めたマイルストーン管理を行っていますか？



Q.2　設定したマイルストーンに対する投資先企業の進捗状況を少なくとも年に1度はレビューを行い、また、マイルストーンを達成できなかった場合、エスカレーション措置を使用することを定めていますか？



日本生命におけるマイルストーン管理の枠組み

	アウトカム創出に向けた進捗管理	（テーマ例）気候変動
1	投資先の課題を検知し、投資先に通知	**温室効果ガス排出量削減** **（目標設定⇒削減進捗）**
2	投資先が通知を受け、課題だと認知	
3	投資先が課題解決に向けた施策を策定	
4	投資先が施策を実行	

社会課題解決に向けて、E･Sテーマを継続的に見直し･発展
（人権、人的資本、生物多様性など）

（※）投資先企業の課題解決が見込めない場合は、議決権の行使や売却等へ行動をエスカレーション